

CADデータのVR(立体視)による情報共有

ジースペース エックスヴィエル プレイヤー ツウ ジースペース

VRディスプレイ『zSpace(*1)』, XVL Player to zSpace

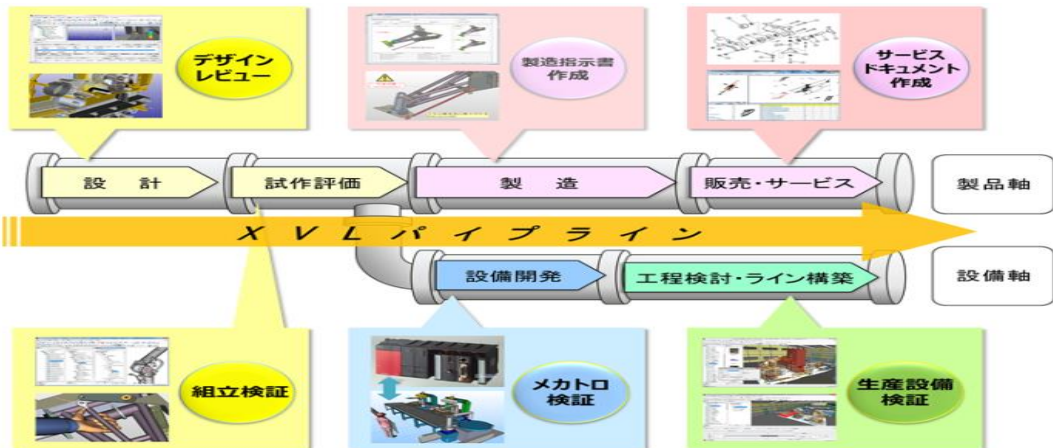
お客様のメリット

- VR(立体視)により今まで気付かなかった事象、現象、問題点の発見をサポート
- VR(立体視)により、第三者と三次元データをより早く、より正確に共有可能
- ヘッドトラッキング機能により、自然な人の動き、目線で検証が可能

XVL Player to zSpaceについて(概要)

XVL Player(*2) 本来の機能を有しつつ、zSpaceのVR機能を完全サポートし、スタイラスによる三次元表示データのスムーズな操作が可能になっています。XVL Playerの表示対象部品・アセンブリの切り替えやアニメーション機能 にリアルタイムで対応するため、ストレスなく表示データをVR(立体視)することができます。設計者が自身の三次元データをより詳しく考察できると共に、第三者と三次元データをより早く共有することが可能になります。

全社PLMを推進するXVLの6ソリューション



XVL Player



zSpace200



お問合せ先 株式会社IDI (<http://www.i-d-i.co.jp>)

070-6974-5966
(fukui@i-d-i.co.jp)

(*1) : zSpace®は、米国zSpace, Inc.の米国および日本における登録商標または商標です。

(*2) : XVL Player®は、ラティス・テクノロジー株式会社の登録商標です。
対応バージョンはXVL Player15

出展画像、内容は、ラティス・テクノロジー株式会社のホームページより抜粋。